

むきぼんだ花だより

8月

2014. 8. 2

この日は、妻木山の頂上付近から隠岐が望めました。観察会をしていると稀に見ることができますが、

この日のように、島前、島後の全島が見えたのは初めてだったように思います。

最近、PM2.5などで空気が濁って、隠岐が見える日が減ってしまったのでしょうか。

この遺跡に多くのやよい人が生活していた時、隠岐は見えて当たり前の日だったのかもしれない。

「隠岐やいま木の芽をかこむ怒濤かな」

か藤 検部



アカメガシワ (雌株)



ゴズイ



クサギ



キミノシロダモ



コシアブラ



イヌビワ



イタチハギ



ノブドウ



クス



コブシ



ヤマノイモ



クリ



アカガシ



クロキ



シナアブラギリ



カクレミノ



ハゼノキ



ハルジオン



タブノキ



クマノミズキ



ミヤコグサ



ヘクソカズラ



イワガラミ



クロガネモチ



ヤブガラシ



カラスザンショウ

芽吹き
2013.04.19

開花
2012.05.19

開花
2013.05.18

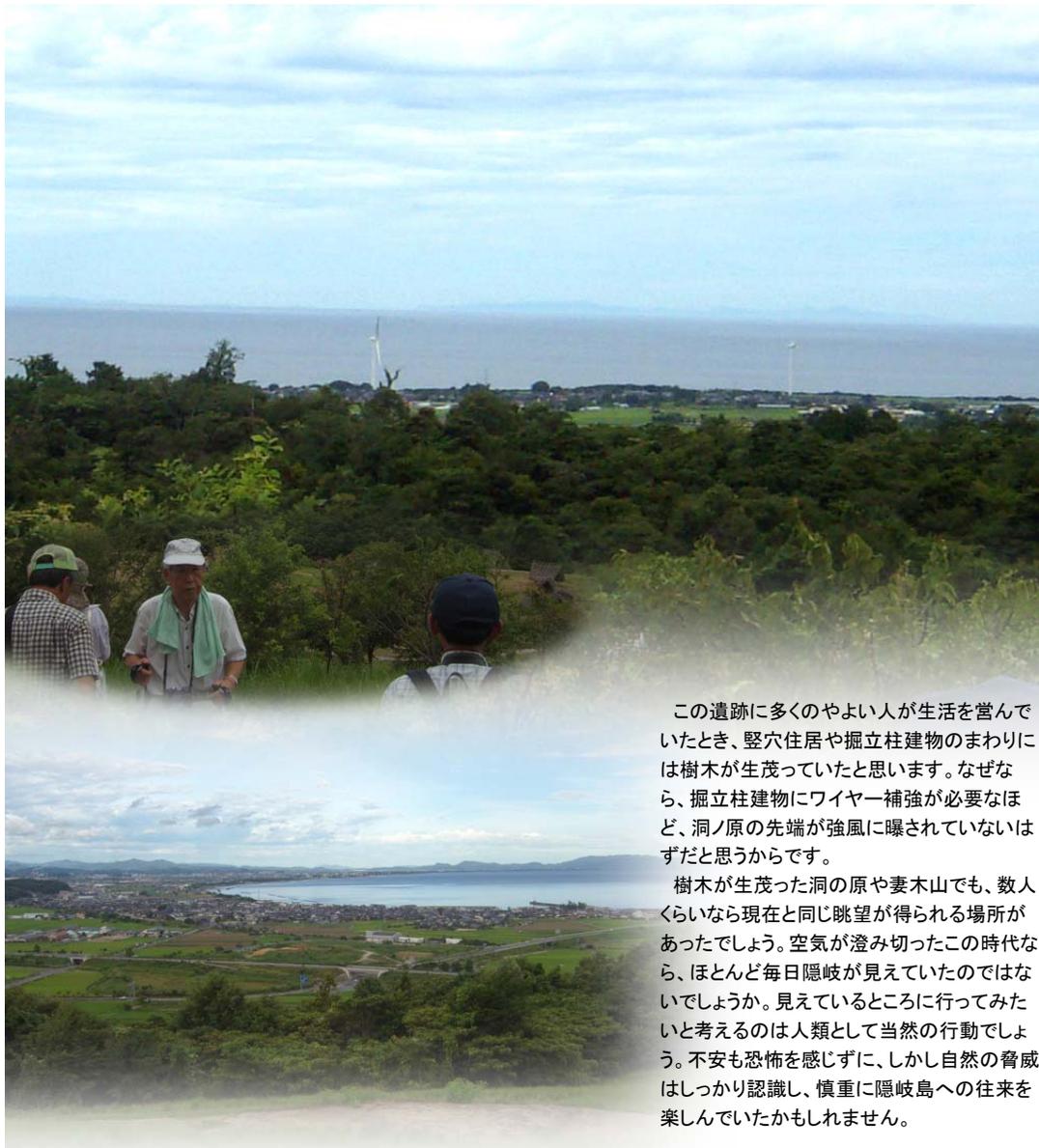
2014.08.02

虫營(むしこぶ)
2009.07.04

カレンダーの植物

エゴノキ

実
2008.09.14



この遺跡に多くのやよい人が生活を営んでいたとき、竪穴住居や掘立柱建物のまわりには樹木が生茂っていたと思います。なぜなら、掘立柱建物にワイヤー補強が必要なほど、洞ノ原の先端が強風に曝されていないはずだと思うからです。

樹木が生茂った洞の原や妻木山でも、数人くらいなら現在と同じ眺望が得られる場所があったでしょう。空気が澄み切ったこの時代なら、ほとんど毎日隠岐が見えていたのではないのでしょうか。見えているところに行ってみたいと考えるのは人類として当然の行動でしょう。不安も恐怖を感じずに、しかし自然の脅威はしっかり認識し、慎重に隠岐島への往來を楽しんでいたかもしれません。

★むきばんだを歩く会★

- 指導：鷲見寛幸先生(鳥取県自然観察指導員)
- 毎月第1土曜日午前9時30分～正午
- 入会金 2000円 毎回資料代 300円 いつでも、どなたでも入会可能です
- 問い合わせ：むきばんだ応援団「むきばんだをある会」